

科目名	国内観光インターンシップⅡ	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			国際観光学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Domestic Tourism Internship Ⅱ	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	よこた けいざぶろう	開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中	
担当者名	横田 恵三郎	修得単位	2単位	
授業のテーマ	これまでのインターンシップ、OB/OG 懇談会、企業研修、企業による講演等の経験を踏まえながら、この授業を履修することにより自己の職業適性をより明確に把握することが出来るようになる。また魅力あるバランスの取れた人間性を涵養し、活躍する社会人としての素養を培うことが出来る。			
到達目標	本授業またこれまでのインターンシップや研修、懇談会を踏まえて、自己の職業適性について明確に把握できる。			
授業概要	当該授業は事前指導・実習・事後指導・報告会・試験で構成されている。これまでの様々な経験と今回の実習経験を併せて、将来の自己のキャリア・プランを明確に描くことが出来ることを目指す。ビジネス・マナーの学修についてはまずは復習から始め、次に難易度を高めた内容にし、ケース・スタディーも行なうことにより、社会人の素養を身に付けることに主眼を置く。実習中は毎日振り返り、必ず日報として記録に残した上で、事後授業の振り返りの材料とする。			
授業計画				
第1回	事前指導① ・ガイダンス ・過去のインターンシップで 見えた課題と今回の挑戦 ・自分への十の約束	第5回	事後指導① ・インターンシップの振り返り 1	
第2回	事前指導② ・整容 ・ビジネス・マナー1 ・ケース・スタディー I	第6回	事後指導② ・インターンシップの振り返り 2	
第3回	事前指導③ ・ビジネス・マナー2 ・ケース・スタディー2	第7回	合同報告会① (国内観光インターンシップⅠ・Ⅱ) (海外観光インターンシップⅠ・Ⅱ)	
第4回	事前指導④ ・コンセンサス形成 ・実習中の自己管理	第8回	合同報告会② (国内観光インターンシップⅠ・Ⅱ) (海外観光インターンシップⅠ・Ⅱ)	
	インターンシップ (40 時間以上)	第9回	定期試験	
授業時間外の学習	日本政府観光局が月次に発表する観光統計や新聞、雑誌、テレビ等を通じてインバウンドや国内観光の傾向を掴むこと(1.5 時間程度)			
履修条件 受講のルール	身だしなみをきちんと整える意思がない人は実習先に派遣することは出来ません。つまり履修することはできません。またアルバイトとは性格を異にするので自己の職業適性など目的意識をもって臨むこと。			
テキスト	特に定めない。			
参考文献・資料	プリントとしてその都度授業の中で配付する。			
成績評価の方法	試験 30%、報告書・報告会での報告 40%、実習受け入れ先企業の評価 30%			
オフィスアワー	水曜日：9:00-11:30、木曜日：9:00-11:30			
成績評価の基準	2016 年度以降入学の学生：秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) 2015 年度以前に入学の学生：優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。			
学生へのメッセージ	是非積極的に履修して下さい。将来、進むべき業界・業種が観光系か非観光系かが明確になるぐらいの気構えで真剣に臨むことを期待しています。自身の人生のためです。			